

KALS 大学院入試対策講座 受講生の皆様

100%合格へ向けて！専属チューターからメッセージ

理系チュートリアル通信

2011年度 Vol.11



河合塾KALSの大学院入試対策講座では、チューター制度を導入しています。授業での合格指導のみならず、受講生向け学習ガイダンスや個別相談などを通じて、受講生からの進路・志望先に関すること、入試に向けての学習法、合格に向けてきめ細かくアドバイスをしています。以下は、理系チューターから受講生の皆さんへのメッセージです。今後の受験対策のご参考にしてください。

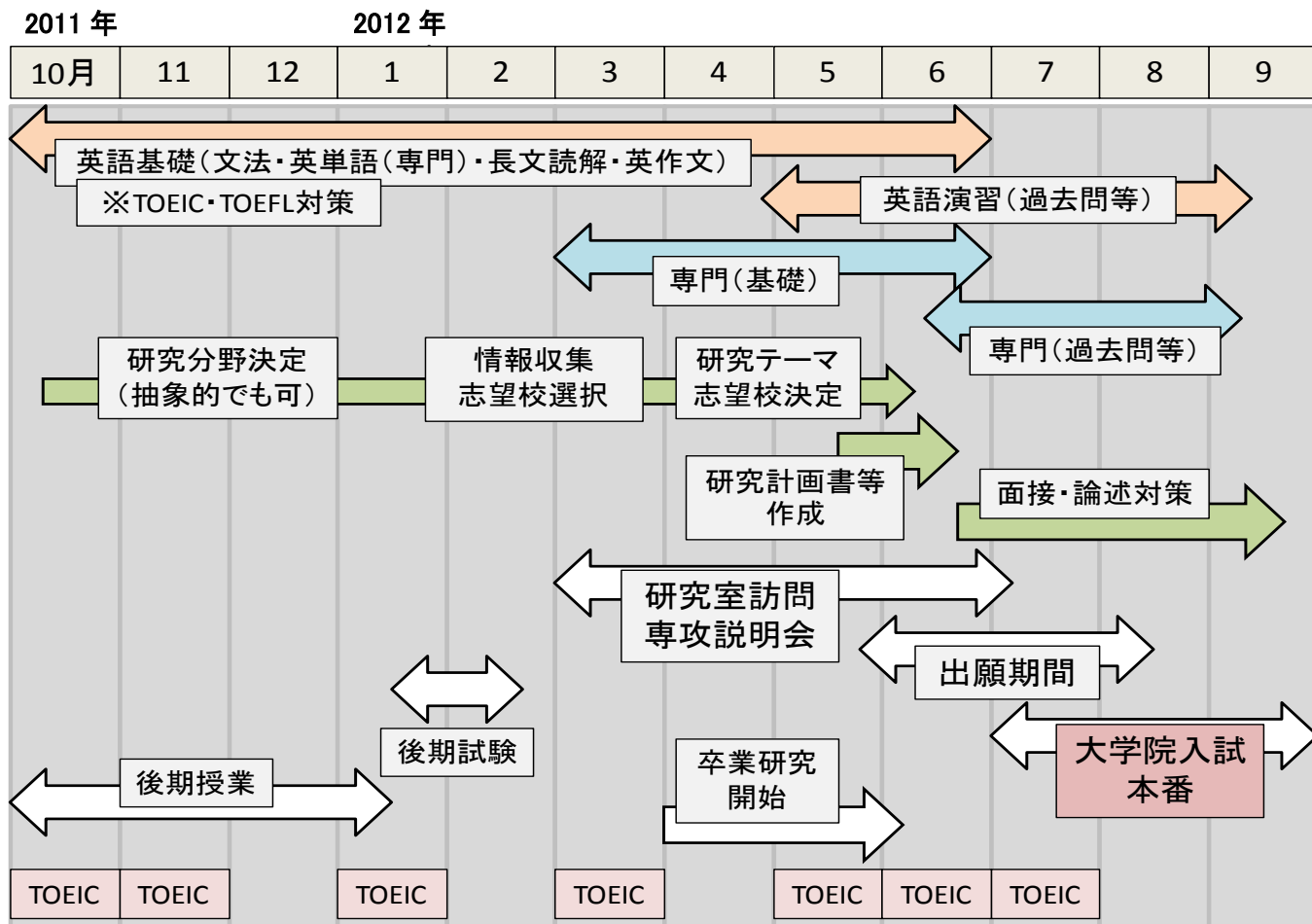
理系チューター 山口雅士

来年の大学院入試に向けて！

こんにちは、大学院入試対策講座理系チューターの山口です。来年の大学院入試まで1年となりました。今回は来年の大学院入試に向けた入試対策の流れについて説明していきます。準備期間は個人によって異なりますが、是非参考にしてみてください。

➤ 理系大学院入試対策の流れ

大学院入試までの対策の流れ(1年間)を図にまとめました。今後自分のすべきことを把握してみましょう。



1. 研究分野の決定

皆さんは大学院でどんな研究をしたいと思っていますか？今はまだ漠然として難しいかもしれませんが、この一年間で自分がなぜ大学院に進学したいか、何をやりたいのかを少しずつ明確に絞っていきましょう。研究の内容は抽象的なままでかまいません。自分の動機が明確になれば対策はよりスムーズに、やる気もできます。

2. 研究室の調査

大学院の主な活動の場は研究室です。自分の所属する研究室によってできる活動が大きく異なってきますので、大学・専攻に入学するというよりも、研究室に入学するという意識で慎重に研究室を絞っていきましょう。

研究室を探す手段としては、インターネットで大学HPやキーワード検索から探す、学会HPや論文著者から探す、もしくは現在の自分の大学の教授から教えてもらうなどが考えられます。

3. 研究室を訪問

研究室が絞れてきましたら、各専攻で開かれる専攻説明会や教授にメールを送って研究室を訪問してみましょう。インターネットからの情報だけでは曖昧で現実とのギャップがあることが多いので、実際に訪問することによって本当に自分のやりたいことができるのか、研究室の雰囲気はどうかを確かめましょう。また学生から入試経験を聞いておくことでより対策の内容を充実させることができます。

4. 筆記試験対策について

◆ 英語

TOEICやTOEFL、科学論文の引用から一般的な文章まで大学院によって様々な形式で出題されます。理系の学生は英語が苦手な人が多い傾向がありますので、勉強すれば他の受験生に差をつけやすい所でしょう。具体的な勉強としては、志望校の出題に応じてKALSで実施している、理系英語(基礎)、理系英語(工学系)、理系英語(理学系)の他、英語長文読解(文法編)、英語長文読解(標準編)、英語長文読解(上級編)、TOEIC対策、TOEFL対策の受講する方法があります。本校を最大限に活用し、効果的に英語対策をしましょう。

筆記試験のかわりに TOEIC や TOEFL のスコアを求める理系大学院が増えてきています。来年までに受験できる機会が限られているので、早めに対策をして1回に限らず何回か受験しておきましょう。

◆ その他の基礎・専門科目

工学系の場合、数学の解析学や線形代数は分野の異なる専攻でも共通して出題される事が多く、また他の専門科目で方程式を解く時などに必要になるため、重要な科目になるでしょう。しかし多くの大学院では教科書の例題レベルから少し発展した問題しか出題されないため、長く期間を設けて教科書の例題レベルはもれなく解けるくらいにしておきましょう。

専門科目については、基礎のように網羅して勉強するというのが難しいことや、大学によって傾向やレベルが違うため、過去問などから情報収集を基に傾向に応じた対策を行うとよいでしょう。期間としては過去問を中心に2~3か月ほどの対策で問題ないと思われます。

あとがき

今回は、大学院入試対策のおおまかな流れを説明しました。みなさん、入試対策のイメージが湧いてきたでしょうか？他大学へ受験することは情報が少なく不安になることが多いでしょうが、主体的に動いて院試合格を勝ち取りましょう。ここまで読んでいただきありがとうございました。

理系チューター 山口 雅士

KALS ではチューター・スタッフが個別相談も行います。各校舎までお問い合わせ下さい。